

# 高校生懸賞論文執筆にあたっての注意事項

**\*無断転載を禁ずる。**

## 1. 論文、レポート（学術的な文章）とは？

感想文、作文：「自分の思ったこと」や「心に浮かんだこと」を書く文章

論文、レポート：調べて考えて書く文章。以下では「論文」として、解説します。

**論文では、「事実」（調べたこと）に基づき「意見」（考えたこと）を述べることが重要！**

## 2. 論文を構成する要素

### ① 序論：テーマの導入、問題設定を行います。全体の10%程度にします。

#### (1) テーマの導入

この部分では、たとえば、「なぜ、本論で大学生に求められる力について論じる必要があるのか」など、そのテーマを論じる意義を示します。自分の論文が扱うテーマの意義を述べてください。

#### (2) 問題設定

問題とはテーマについて立てられた問いのことです。たとえば、「今日の大学生にはどのような力が求められているのか」、「今日の大学生にはどのような力が欠けているのか」などの問題を立てましょう。

#### (3) 結論と展開の予告

本論においてどのようなことを論じ、最終的にどのような結論を示したいのかを簡潔に述べます。

### ② 本論：論文の中心部分です。全体の70%~80%になるようにします。

#### (1) 主張の立証

根拠と証拠を示しながら自分の主張を展開します。たとえば、「今日の大学生に求められる力は〇〇である」ということをあなたが主張したいのであれば、参考文献、客観的なデータ、学術資料などを根拠として示しながら自分の主張を展開します。

#### (2) 主張の批判的検討

自分の主張に対して予想される反論を想定し、それに再反論を加え自分の主張が勝っていることを示します。

### ③ 結論：序論の問題に解決する部分です。全体の10%~20%程度にします。

#### (1) 要約

論文の趣旨（テーマの意義と問題の設定）を確認し、論文全体を簡潔に要約します。

#### (2) 結論

論文内で論じられた内容から導かれる最終的な結論を明確に示します。原則として、新しい議論は加えてはいけません。序論、本論でまったく触れていない内容を扱うことがないように気をつけましょう。

### ④ 文献表：参照した文献を明示してください。

# 高校生懸賞論文執筆にあたっての注意事項

**\*無断転載を禁ずる。**

## 3. 論文作成のルール

剽窃と引用

他人の意見と区別せずに自分の意見のように使ってしまうと、「剽窃」や「盗作」となり、評価されなくなります。また処罰の対象ともなり得ますので、絶対にしないこと。

剽窃とは…他人の考えや主張をことわりもなしに盗むこと

論文で行ってしまう可能性のある剽窃

### ①丸写し

友だちの書いた論文やネット上のサイトに公開されている文章をコピーして、自分の書いたものとして提出すること。

### ②無断借用

論文の重要な主張を、参考文献あるいは引用文献として言及せずに他の論文から借用すること。

\*剽窃がなぜいけないのか？

- ・著作権法の侵害にあたるから（損害賠償責任が生じ、懲役、罰金など刑罰を受ける可能性も）
- ・人が苦勞して到達した真理や知識にはそれ相当の尊敬が払われるべきだから
- ・自分が成長できるチャンスを逃すことになるから

引用とは…論文の中で他人の意見を紹介すること

他人の文章をそのまま使う場合

- ① 著者名（出版年）は、「引用文」（記載頁）と述べている。
- ② 著者名（出版年）によると「引用文」（記載頁）である。

他人の文章を要約して使う場合

- ③ 著者名（出版年）は、……要約文……としている。
- ④ 著者名（出版年）によると、……要約文……である。

参考文献の書き方

→論文作成にあたり、参考にした著書や論文は、論文の最後に参考文献として記述する。

著書：著者名（出版年）『タイトル』出版社

例：藤田哲也編（2005）『大学基礎講座』北大路書房

論文：著者名（出版年）「論文タイトル」『論文が掲載されている著書名／雑誌名』、出版社、掲載頁

※雑誌の場合、出版社の前に号数を記入

例：山内博之（2009）「レポートの種類」田中共子編『よくわかる学びの技法（第二版）』ミネルヴァ書房、36-39頁

# 高校生懸賞論文執筆にあたっての注意事項

**\*無断転載を禁ずる。**

## 文章表現

- ・文章はできるだけ短くするように心がけましょう。  
1文は40字を目安に。
- ・ひとつの段落で言いたいことは、ひとつだけに絞りましょう。
- ・文末表現は「だ・である体」で統一しましょう。
- ・口語表現は基本的に使いません。
  - ×「私は～」 「僕は～」
  - 「本レポートでは～」 「本稿では～」 「筆者は～」

## 4. 論文を書くための資料の探し方

### 資料を見つけるためのポイント

・多くの図書館には、OPAC（オープンアクセスカタログ）があります。これを利用することで、その図書館の蔵書から、レポートの参考になりそうな図書や雑誌を見つけることができます。  
「香川」や「まちづくり」といったキーワードや資料のタイトル、執筆者名を入力して検索します。  
インターネットを利用して、図書館の外からOPACによって検索できる場合もあります。

- ・香川大学図書館は、所定の手続を経ることで、一般の方も利用できます。  
詳しくは、以下のリンクを参照してください。

<香川大学図書館 HP> <http://www.lib.kagawa-u.ac.jp/www/annai.html#gakugai>

- ・香川県の統計資料は、インターネットでも閲覧できます。

<http://www.pref.kagawa.lg.jp/content/etc/subsite/toukei/index.shtml>

<参考> CiNii というサイト (<http://ci.nii.ac.jp/ja>) を利用すると、研究者が執筆した論文を見つけることができます。

Wikipedia はとても便利なインターネット上の百科辞典ですが、誰でも自由に執筆でき、いつでも変更される可能性があります。よって、レポートや論文の根拠としてそのまま使用することはできません。同様の理由から、まとめサイトもそのまま使用することはできません。Wikipediaなどで入手した情報をレポートや論文で使用したい場合は、その情報の元になった典拠を必ず自分で確認しましょう。